

## 第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	ぶれすと尻手ほいくえん
経営主体(法人等)	株式会社プレストインターナショナル
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所等	〒230-0003 横浜市鶴見区尻手1-4-51
設立年月日	2017年4月1日
評価実施期間	令和元年6月～2年1月
公表年月	令和 2年 2月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
<b>総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）</b>	
<p><b>【施設の立地・特徴】</b></p> <p>• <b>立地および施設の概要</b></p> <p>株式会社プレストインターナショナルが運営する、ぶれすと尻手ほいくえんは、JR南武線尻手駅から徒歩7分の、国道1号線（第二京浜道路）と南武線の支線の線路に挟まれた、静かな住宅街にあります。鉄骨3階建てビルの2階・3階が園舎で、1階には鶴見区地域子育て支援拠点「わっくん広場サテライト」があり、屋上が園庭になっています。</p> <p>2017年4月開園の、3年目の保育園で、0歳児から5歳児まで、定員60名のところ現在67名が在籍しています。</p> <p>• <b>園の特徴</b></p> <p>保育理念に「違いを認めて学び合う」、保育方針に「まなびがあそび、あそびがまなび」「思いやりの心を育てる」を掲げています。プレストグループの学習塾部門の資源を子どもの指導に取り入れ、外国人の多い鶴見区で英語が学べる保育園として、外国人スタッフが日常的に子どもと遊ぶなど、グローバルな心を育てる保育を実践しています。</p> <p>また、保育アプリを導入し、指導計画の作成から保育日誌、児童票、会議録、保護者連絡ほか、徹底してペーパーレスに管理し、職員間や保護者との情報共有と作業効率化に取り組んでいます。</p> <p><b>【特に優れていると思われる点】</b></p> <p><b>1. 子どもたちの思いを尊重した遊びの展開</b></p> <p>5歳児クラスで、子どもたちからお気に入りの絵本の物語の「劇をやりたい」という声があがり、自分たちで話し合っキャスト、衣装係、舞台係の役割を決めるなど、子どもの思いを尊重した遊びが展開されています。また、夏まつりに向けても1つのことを達成しようと楽しみ、励まし合いながら力を合わせて活動に取り組む姿がありました。みんなで話し合っ「綿菓子とバッグ屋さん」の店を出したいという気持ちが1つになり、店の看板、一つずつ袋に入れた綿菓子、子どもたちが思い思いに絵を描いたバッグなどを手作りしてきました。職員の「お金はどうするの？」の言葉かけで子どもたちはレジも用意して、お祭りの参加者と夏祭りを楽しみました。</p> <p><b>2. 食事を豊かに楽しむための食育年間スケジュールの作成と実施による工夫</b></p> <p>栄養士が0歳児～5歳児までの食育年間スケジュールを作成し、年齢に応じた調理・栽培体験をしています。調理に際してはその都度食育計画書が作成されており、目的、必要なものが整理され、配置図・作業内容、配慮事項などが事前にきめ細かく検討されており、最後に評価・反省まで実施し、子どもたちが食事を豊かに楽しむ工夫がなされています。</p>	

### 3. 第三者委員に運営委員会の定例メンバーに委嘱し園運営の円滑化を推進

地域の民生委員と児童委員に第三者委員を委嘱し、さらに運営委員会の定例メンバーとして参加してもらっています。運営委員会には各クラスから保護者代表も参加するので、保育園の状況を説明して理解してもらおうとともに、保護者とも顔を合わすことができ園運営の円滑化が図られています。

#### 【特に改善や工夫などを期待したい点】

#### 1. 長期的展望に立った人材育成計画の作成

保育園の人材をどのような仕事を経験させ育成するのか、またどのような資質を持った人材に育成していくのかの考え方の設定が望まれます。これらは職員にとってもキャリアアップのためには必要な目標であり、速やかに作成し開示することが望まれます。また、現在、研修受講後の報告はアプリの閲覧によって共有していますが、研修効果を検証し、人材育成計画に沿った研修計画の作成が期待されます。

#### 2. 保護者の保育参観・保育参加の機会の提供

保育園としては、保育参観は希望があれば受け入れる体制にしていますが、まだ受け入れの実績はありません。しかし、保護者のアンケートによれば保育参観、保育参加の希望がありますので、年間の行事予定表に含めて、保護者が参加しやすいようにして実施することが期待されます。なお、その際には保育園で提供している食事の試食ができるようにすると、さらに園での子どもの生活への理解が深まると思われます。

#### 3. 中長期計画の作成と着実な推進

持続可能な保育所運営を可能とするためには、先を見据えた課題設定や外部変化に対応できる環境を備えることが大切です。現在作成されている中長期計画は一部不十分なところがあり現在見直し中ですが、具体的な計画の策定が望まれます。また、年度単位の事業計画を策定し着実な推進が期待されます。

### 評価領域ごとの特記事項

<b>1.人権の尊重</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「違いを認めてまなび合う」という保育理念のもと、「まなびがあそび、あそびがまなび」「思いやりの心を育てる」の保育方針を設定し、子ども本人を尊重したものとなっています。</li><li>・子どもの呼び名は保護者に確認し、その名前で呼んでいます。全職員は、「子どもの個々の発達過程を理解し、違いを認めてまなび合う」という保育理念に基づいて、子どもの人格を尊重する保育を大切に考えています。</li><li>・子どもが、友達や保育士の視線を意識しないで過ごせたり、子どもに威圧感を与えず話し合える場所として、空いている保育室やカウンセリングルーム、廊下などを使って1対1で話が聞けるようにしています。</li><li>・守秘義務の意義や目的については、新人研修で法人本部と園長が説明をしています。保護者には、入園説明会の個別面談時に個人情報についての説明をし、同意書に署名捺印をしてもらっています。</li><li>・「児童虐待防止マニュアル」により定義や早期発見方法、連絡先などを全職員に周知しています。虐待が明白な場合には、園長は「児童虐待防止マニュアル」に基づき、鶴見区こども家庭支援課並びに横浜市東部児童相談所に迅速に通報し、相談することになっています。</li></ul>
<b>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・全体的な計画は保育の基本方針や家庭の状況などを考慮し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて作成されており、それに基づき、年齢ごとに年間指導計画・月間指導計画・週案が作成されています。</li></ul>

- 0歳児保育においては、子どもの表情やしぐさを代弁し、子どもの思いをくみ取り、1対1での関わりの時間を持ち、職員も子どもの表情やしぐさに応答的に関わっています。興味が持てるような手づくり玩具や絵本を子どもがいつでも手が届く位置に置いています。
- 1歳以上3歳未満時の保育においては、食事や着替えや遊びなどで子どもがやりたいと思っている気持ちを大切に、できた時の喜びと一緒に共有して次への自信につなげられるように対応しています。天気の良い日は戸外への散歩を実施し、また天候の悪い時には室内でマット運動や鉄棒、ダンスなどをして、全身運動ができるようにしています。
- 3歳以上児の保育においては、3歳児では、簡単なルールのある集団遊びから始めて、一人一人の子どもの気づきや感動に共感し、興味や関心を深められるようにしています。4、5歳児では、ルールを守ることでみんなと一緒に楽しめる遊びへと繋げるようにし、子どもたちが自主的に行動したり、相手の気持ちを考えたり、話し合ったりできるような機会を設けています。
- 各保育室には空気清浄機が設置されており、また定期的に窓を開け空気の入替えをしています。0歳児室には沐浴施設があり、1歳児室と2歳～5歳児が利用できる温水シャワー室があります。プール以外でも、散歩から汗をかいて帰園した際や園庭で遊んで汗をかいた後には、温水シャワーを浴び、体を清潔にしています。
- 保育室の棚は絵本、ぬいぐるみ、ままごと道具などの種類ごとに分け、子どもが自分で取り出して遊べるように低くしたり、おもちゃを片付けやすいように、1、2歳児クラスは棚の手前におもちゃの写真を貼っています。保育室は必要に応じて、マットや牛乳パックで作ったパーテーション、机などを用いてコーナーを作り、子どもが落ち着いて遊べるようにしています。
- 給食会議を毎月1回、栄養士、各クラス担任、園長、主任のメンバーで開催し、子どもの好き嫌いを発表し合って把握できるようにしています。調理担当者は、嫌いなものは盛り付けや調理方法、材料の切り方などを工夫しています。
- 年度初めにクラス懇談会を開催したり、園だより、給食だより、保健だより、日々の連絡帳などで、保護者が保育方針を理解できるよう努めています。
- 保護者の個別面談は年2回実施し、担任が保育室で話をしています。保護者が子育てのことで悩みを抱えている場合などは担任がその都度、面談をしています。また、職員は子どもの送迎時に今日の子どもの様子や健康状態などを口頭で伝えて、保護者と日常的な情報交換をしています。

### 3.サービスマネジメントシステムの確立

- 入園前に保護者と子どもと担任職員・栄養士・園長で面接をし、家庭調査表・生育記録・健康診断結果・アレルギー情報・緊急連絡票などを提出してもらい、面接記録とともに個人別にファイルしています。
- 新入園児には短縮保育（ならし保育）を勧めており、保護者に無理のないように調整しています。また、0、1歳の新入園児に対しては、授乳やおむつ替えなどの主担当を決めています。
- 配慮を要する子どもを受け入れており、定期的に行われている職員会議でケース

	<p>会議を行い、議事録を保育アプリに残して全職員で閲覧し共有しています。ケース会議での話し合い、東部療育センターの担当者の訪問時のアドバイスなどを参考にして個別指導計画を作成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 苦情解決体制については、苦情受付担当者、苦情解決責任者、地域の民生委員と児童委員による第三者委員の氏名・連絡先を「重要事項説明書」に明記して、保護者が直接苦情を申し立てることができるようにしています。年2回の運営委員会には第三者委員もメンバーになっており、第三者委員との話し合いができる場があります。</li> <li>• 健康管理マニュアルがあり、健康診断、健康管理、病気の時の対応など一人一人の健康状態を把握しています。感染症への対応に関するマニュアルがあり、登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応について明記した書類を保育アプリに掲載して、保護者に知らせています。</li> <li>• 衛生管理マニュアルがあり、それに基づいて、職員トイレや3階トイレなどの共用スペースは掃除チェック表を用い、保育室や手洗い場などはクラス掃除チェック表を用いて毎日、清掃等を行っています。</li> <li>• 安全管理マニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策を実施しています。保育マニュアルの中にプール活動、睡眠中、食事中に分けて掲載して事故防止に取り組んでいます。</li> </ul>
<p><b>4.地域との交流・連携</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 週1回、園見学説明会を、月1回、屋上園庭開放を実施して参加者からアンケートを取ったり、地域ケアプラザ（ゆうづる）からの情報や、毎年実施する地域保育フェアで保護者から直接相談を受け、地域の子育て支援ニーズを把握しています。</li> <li>• 鶴見区こども家庭支援課主催の園長会での打ち合わせや、専門講師を呼んでの研究会、年2回の区役所保健師・療育センター・保育園による検討会などを開催しています。また、地域保育フェアや屋上園庭開放日に、トイレトレーニングや離乳食の献立など、保育に関する内容を中心に講習を行っています。</li> <li>• 保育園の行事の夏まつりには、近くのマンションにチラシを配り、地域の小学生が10人位参加しています。また、園長は、市場小学校主催の地域交流会議に年1回参加しています。園長や職員が鶴見区子育て支援ネットワーク会議のメンバーになっており、年間活動予定を一緒に考えています。</li> <li>• ボランティア受け入れのためのマニュアルがあり、今年の夏休みに大学の保育科の学生を4日間ボランティアとして受け入れ、記録は保育アプリの「園日誌」に残しています。</li> </ul>
<p><b>5.運営上の透明性の確保と継続性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育所保育指針に基づき全体的な計画を作成しており、子どもの最善の利益を第一義にしています。職員は、入社前の研修で保育理念や保育方針を理解したうえで、指導計画を作成し保育活動を行っており、全職員が理念や保育方針を理解しています。</li> <li>• 保育所として守るべき法・規範・倫理などが明文化され、「指南書」に明記され、職員は自由に閲覧できるようになっています。不適切な事案が発生した場合は職員会議で報告し、グループの園長会議で審議し、会社としての対策を講じるよう</li> </ul>

	<p>になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員は、年2回自己評価を実施しています。園長は、全員の自己評価結果をとりまとめ、課題を抽出して保育園としての自己評価としており、保育理念や保育方針、全体的な計画にそって実施しています。</li> <li>保育理念・保育方針は明文化されており、「指南書」「保育園案内」「重要事項説明書」に明記されています。また、事務室にも掲示されており、職員が常に意識できるようになっています。</li> <li>園長は、鶴見区の園長会議に参加し外部環境の変化情報を収集・分析しています。重要な情報や改善課題については、月1回開催される本部とのグループの園長会議の議題として審議しています。</li> <li>中長期事業の方向性を定めた計画は策定していますが、中長期的な計画を踏まえた単年度の事業計画は策定されていません。具体的な計画の策定が望まれます。</li> </ul>
<p>6.職員の資質向上の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園長は保育園の運営に十分な人材構成であるかをチェックし、本部の人事担当者が必要な人材を採用しています。昇進や昇格を目指しキャリアアップする長期的な職務展望や資質向上のための研修計画、長期を展望した人材育成計画が作成されていません。職員のキャリアアップのために、これらの計画の策定が望まれます。</li> <li>年初に年度目標を定め、自己評価表を前期・後期でチェックし、年度末に達成度を評価する仕組みを持っています。毎月の職員会議やクラスミーティングで保育の質の向上を目指した会議が開かれており、反省点や改善点の話し合いを行い、振り返りは次期計画へ反映しています。</li> <li>園長は職員の研修ニーズを把握し、職員から研修受講希望を募り偏りがないように研修を計画しています</li> <li>非常勤職員の指導担当は乳児・幼児のリーダーで、定期的に（3か月に1回）面談し、働きやすい環境にしています。</li> <li>「配置や昇進・昇格等に関する人事基準」があり、本部の人事担当者が給与や昇進関係を設定し職員に周知しています。また、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度などについては、職務の専門性の発揮やクラス運営、出勤率などで評価し、本部の人事担当者との園長の打ち合わせで意見を出し合い決定しています。</li> <li>本人の経験・能力や習熟度に応じて、主任、乳児・幼児リーダーという職務役割を与え、やりがいや満足度を高めています。</li> <li>実習生受け入れのためのマニュアルがありますが、実習生は受け入れていません。将来の人材育成の面からも、実習生の受け入れに積極的に取り組むことが望まれます。</li> </ul>

## 評価機関による評価

令和元年 12 月 20 日

### 事業所名 ぶれすと尻手保育園

 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

#### 評価領域 I 子ども本人の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>I - 1</b>                      保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「違いを認めてまなび合う」という保育理念のもと、「まなびがあそび、あそびがまなび」「思いやりの心を育てる」の保育方針を設定し、子ども本人を尊重したもとなっています。</li> <li>・入社前の研修で保育理念や保育方針を理解したうえで、指導計画を作成し保育活動を行っており、全職員が理念や保育方針を理解しています。</li> <li>・保育所保育指針に基づき全体的な計画を作成しており、子どもの最善の利益を第一義にしています。</li> <li>・全体的な計画は保育の基本方針や家庭の状況などを考慮し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて作成されています。</li> <li>・全体的な計画に基づき、年齢ごとに年間指導計画・月間指導計画・週案が作成されています。なお、作成はクラス担任職員が作成し、乳児・幼児リーダがチェックし、その後主任が入ってチェックし、出来上がったものを園長が確認・承認する仕組みになっています。なお、全体的な計画・年間指導計画・月間指導計画・週案は保育園で所有する社内の保育アプリシステムに收容されています。</li> <li>・平日頃から子どもたちに発表の場を設け自主性を養うとともに、どんな遊びをしたいのかを問い、計画を柔軟に見直しできるようになっています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な計画・年間指導計画・月間指導計画・週案は保育園で所有する保育アプリに收容されており、ペーパーレス化されています。また、職員は全員保育アプリで閲覧・利用し、保護者宛ての配付物は、一括で又は個別に送付できるようになっています。</li> </ul>
<p><b>I - 2</b>                      子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前に保護者と子どもと担任職員・栄養士・園長で面接をし、入園までの生活環境や状況を把握しています。</li> <li>また、1週間の慣らし保育後に再度保護者と面接しています。これらの面接の結果は記録にとっています。</li> <li>・入園前の面接時には家庭調査表・生育記録・健康診断結果・アレルギー情報・緊急連絡票などを提出してもらい面接記録とともに個人別に把握されています。</li> <li>・新入園児には短縮保育（ならし保育）を勧めており、入園前の面接時に説明し保護者に無理のないように調整しています。</li> <li>・新入園児に対してはシフト勤務の課題はありますが、担当職員同士で授乳やおむつ替えなどの、主となる担当を決めています。</li> <li>・新入園児受け入れ時には、在園児への影響を考慮し、できるだけ担任の一人は持ち上がるようにしています。2月末には部屋・玩具の事前引っ越しを行い、様子観察を行い日々の保護者との連携を密にしています。</li> <li>・指導計画の作成に当たっては子どもの発達や状況に応じて作成し、評価反省・見直しを行っています。</li> <li>・職員は子どもの表情やしぐさを代弁し、子どもの思いをくみ取り、1対1での関わりの時間を持ち、職員も子どもの表情やしぐさに応答的に関わっています。</li> <li>・興味を持てるような手づくり玩具や絵本を子どもがいつでも手が届く位置に置い</li> </ul>

	<p>ており、子どもの発達や興味の移行に合わせて、3か月程度の周期で玩具や絵本の入れ替えをしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、食事や着替えや遊びなどで子どもがやりたいと思っている気持ちを大切に、できた時の喜びを一緒に共有して次への自信につなげられるように対応しています。</li> <li>・天気の良い日は戸外への散歩を実施し、また天候の悪い時には室内でマット運動や鉄棒、ダンスなどをして、全身運動ができるようにしています。</li> <li>・3歳児の保育では、友達とのやり取りでうまくいかない場合には職員が仲介して、簡単なルールのある集団遊びから始めています。また、一人一人の子どもの気づきや感動に共感し、興味や関心を深められるようにしています。</li> <li>・4歳児の保育では、ルールを守ることでみんなが一緒に楽しめる遊びへと繋げるようにしています。子どもたちが自主的に行動したり、相手の気持ちを考えたり、話し合ったりできるような機会を設けています。</li> <li>・5歳児の保育では、意見を出し合い台詞を考えた劇遊びを行うなど、集団の中で一人一人の役割が生かされ友達と協力して一つのことをやり遂げることをしています。夏祭りではお店屋さんを担当し、手作りの綿菓子やバッグ売りを行いました。</li> </ul>
<p><b>I-3</b>  <b>快適な施設環境の確保</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「衛生管理マニュアル」に基づき保育園の内外とも清潔に保たれており、職員で分担し清掃した結果は「清掃記録」として記載しています。</li> <li>・各保育室には空気清浄機が設置されており、また定期的に窓を開け空気の入替えをしています。</li> <li>・各保育室内の温度管理は自動設定されていますが、「衛生管理マニュアル」に基づき適切に調整されています。</li> <li>・0歳児室には沐浴施設があります。</li> <li>・1歳児室と2歳～5歳児が利用できる温水シャワー室が2階と3階にあります。プール以外でも、散歩から汗をかいて帰園した際や園庭で遊んで汗をかいた後には、温水シャワーを浴び、体を清潔にしています。</li> <li>・低年齢児には、マットを敷き、絵本を読む、おもちゃで遊ぶなどのコーナーを作り、目的に合わせて部屋の使い方を工夫しています。</li> <li>・園内に異年齢児の交流の場は設けてはいませんが、クラスを仕切っているパーティーションを開ければいつでも広いスペースが作れるようになっています。なお、朝夕の合同保育や行事や食育活動の場では、4、5歳児室を利用し異年齢の交流を行っています。</li> </ul>
<p><b>I-4</b>  <b>一人一人の子どもに個別に対応する努力</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児については、職員間で相談しながら個別指導計画を作成しています。</li> <li>・幼児についても特別な配慮が必要な園児については、ケース会議を開き個別に指導計画を作成しています。</li> <li>・子どもや家庭の個別の状況・要望などについては、入園時に保護者に記入・提出してもらった児童票などを基にして、面談時に記録を取っています。</li> <li>・子どもの情報や、入園後の子どもの成長記録は保育アプリに記録しています。</li> </ul>
<p><b>I-5</b>  <b>保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮を要する子どもを受け入れており、定期的に行われている職員会議でケース会議を行い、議事録を保育アプリに残して全職員で閲覧し共有しています。</li> <li>・最新の情報は、職員は各クラス設置の携帯やタブレット端末から常時見れるようにシステム化されており、日々の保育に生かしています。</li> <li>・エレベーターがあり、1階から屋上まで階段を使用せずに移動できます。また、階段には手すりが設置されています。なお、部屋と廊下・トイレはバリアフリーとなっています。</li> <li>・ケース会議（園長・主任・リーダー・担当職員）での話し合い、東部療育センターの担当者の訪問時のアドバイスなどを参考にして個別指導計画を作成しています。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児には担当の職員が付いており、障がいの特性に合わせて個別対応しながら、他の子どもたちと関われる部分は大切にしてお互いの関係を築けるようにしています。</li> <li>・「児童虐待防止マニュアル」により定義や早期発見方法、連絡先などを全職員に周知しています。</li> <li>・虐待が明白な場合には、園長は「児童虐待防止マニュアル」に基づき、鶴見区こども家庭支援課並びに横浜市東部児童相談所に迅速に通報し、相談することになっています。</li> <li>・かかりつけ医による「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指示表」に基づき、食物アレルギー児に対し除去食を提供し、提供時には細心の注意を払っています。</li> <li>・看護師が園内研修を実施し、全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報を周知するとともに、栄養士が食物アレルギーについて給食会議で最近の情報を提供しています。</li> <li>・食物アレルギーにおいては、保護者との連携を密にして、年に1度はアレルギー検査を受けてもらい除去食を提供するとともに、アレルギーが落ちていたりしないように保育園を清潔に保つようになっています。</li> <li>・除去食提供に当たっては、調理室からの受け取りや配膳時には職員同士で必ず声をかけ合い、柄の違う食器や色付きトレイや名札を用意し、また、誤食防止のため食卓を別にしてしています。</li> <li>・「違いを認めて学び合う」という保育理念の基に異文化や生活習慣の違いを認め、食育活動・英語サークル・行事などに参加することで園児は違和感なく保育園の生活を楽しんでいます。</li> <li>・食事の献立に外国の献立を取り入れ紹介し、子どもたちがその国の文化を理解できるようにしています。また、英語サークルでの外国人先生との触れ合いなどから、子どもたちは無理なく安心して保育園生活を送っています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉活動を好まない場合は無理強いせずに、保育室の一角にその子のためのコーナーを設けて、落ち着いて過ごせるようにしています。</li> </ul>
<p><b>I - 6</b>  <b>苦情解決体制</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の民生委員と児童委員に第三者委員を委嘱しています。また、「重要事項説明書」に明記して保護者は直接苦情を申し立てることができます。</li> <li>・事務所横にはご意見箱があります。また、行事後にはアンケートを取っており、自由記載欄に保護者は要望や苦情を書き提出することが可能です。</li> <li>・年2回の運営委員会には第三者委員もメンバーになっており、第三者委員との話し合いができる場があります。</li> <li>・保護者の要望・小さなクレームも園長・主任に報告する仕組みになっており、要望や苦情があった場合は、保育アプリを通じて全職員へ周知しています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員に運営委員会に出席してもらい、保育園の状況を説明して理解してもらうとともに、保護者の代表と顔を合わす機会を設けています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅱ 保育の実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅱ - 1</b>  <b>保育内容[遊び]</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室の棚は絵本、ぬいぐるみ、ままごと道具などの種類ごとに分け、子どもが自分で取り出して遊べるように低くしたり、おもちゃを片付けやすいように、1、2歳児クラスは棚の手前におもちゃの写真を貼っています。保育室は必要に応じて、マットや牛乳パックで作ったパーテーション、机などを用いてコーナーを作り、子どもが落ち着いて遊べるようにしています。1歳児クラスでは、保育室の</li> </ul>

	<p>隅にレースのカーテンをハンモックのようにおろしてテント風のコーナーにすることで、少人数の子どもたちが落ち着いて遊べるようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちは、ままごと遊びをしたり、ブロックで協働して家を作って遊んだり、ぬりえやパズルで、一人で遊ぶなどしています。4、5歳児クラスは、公園では、子どもが自由に探索したり遊具で遊んだりする時間と、クラスでリレー遊びをするなどの時間を設けています。室内では、椅子取りゲームやじゃんけん列車などのルールを取り入れた遊びを通して、友達関係やルールを守るなどの社会性を身につけることができるよう一斉活動を行っています。</li> <li>2～5歳児クラスでトマト、キュウリ、ピーマン、さつまいも、大根などを栽培し、給食に出してもらったり、さつまいもスタンプを作ったりして保育活動に反映させています。飼育は、子どもたちが散歩で見つけてきた蝶々のさなぎを、事務所のカウンターに置いて観察し、成虫になる状態を絵に描いたり、図鑑で調べるなどしています。</li> <li>園外活動で市場小学校へ行く道を知り、地域にはスーパーや病院、床屋、工場などがあるということを知る機会になっています。</li> <li>0歳児は音楽に合わせてマラカス、太鼓などでリズム遊びをしたり、動物体操などで身体を動かしています。1、2歳児は季節の歌を歌ったり、動物体操などで身体を動かし、ぬりえや絵合わせパズルなどで遊んでいます。3歳児以上は打楽器や鍵盤ハーモニカなどに合わせてリトミック遊びの時間を設けたり、個人用に自由画帳とクレヨンを用意して、子どもが自由に表現できるよう配慮しています。</li> <li>朝夕の合同保育の時間は、それぞれ0、1歳児、2、3歳児、4、5歳児が一緒に過ごすようにしています。誕生会やクリスマス会などの行事では異年齢の子ども同士が関わりを持ち、散歩では異年齢で手をつないで歩いたり、公園で一緒に遊ぶ機会を設けています。職員は、言葉遣いや声の大きさに注意を払いながら一人一人の子どもに声かけをし、子どもの気持ちに寄り添うよう心がけています。</li> <li>0、1歳児クラスでは、保育室にマットで造った山を上り下りしたり、蛇腹のトンネルをくぐったり、お家セットを置いて出たり入ったりして全身を使って活動できるように工夫しています。幼児クラスでは、鉄棒、なわとび、ボール遊び、ぽっくり遊び、動きのある集団ゲーム遊びなどを取り入れています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5歳児クラスでは、みんなで話し合っ、夏まつりに「綿菓子とバッグ屋さん」のお店を出すことにしました。お店の看板、一つずつ袋に詰めた綿菓子、思い思いに絵を描いたバッグなどは、全て子どもたちの発想による手作りのものです。職員の「お金はどうする？」という言葉かけでレジも用意して、お祭りに参加してくれた人たちに楽しんでもらいました。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－1</b> <b>保育内容[生活]</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>1歳児クラス以上は保育室で職員が個々に合わせた量を盛り付け、子どもが苦手なものは、調理はさみで小さく切って食べやすくするなどの工夫をしています。職員は、「おいしいね」「お兄さんたちの作ったトマトだよ、頑張ってみようね」や、嫌いなものが食べられた時は「よかったね、ママに報告するね」などの言葉かけをしています。また、子どもたちは当番活動を行い、2歳児クラスは食事のあいさつをする、3歳児クラスはテーブル拭きをする、4、5歳児クラスは職員と一緒に調理室へ食事を取りに行ったり、メニュー紹介をするなどして、食事やその過程に関心を持つように工夫しています。</li> <li>行事食の日を設けて子どもが喜ぶ献立にしています。季節感を大事にし、ひな祭り、こいのぼりランチ、ハロウィンおばけカレー、クリスマスのバイキングなどと食欲がわくような盛り付けなどを工夫しています。食材はほとんどのものは国産品を使用するようにしています。食器は強化磁器で、食べやすいように縁が立ち上がっているものにしています。</li> <li>給食会議を毎月1回、栄養士、各クラス担任、園長、主任のメンバーで開催し、子どもの好き嫌いを発表し合っ把握するようにしています。調理担当者は、嫌</li> </ul>

	<p>いなものは盛り付けや調理方法、材料の切り方などを工夫しています。栄養士や調理担当者が毎日各クラスを巡回して、子どもたちの食事の様子を観察しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・翌月の献立表は毎月末に保育のアプリにて保護者に配信し、事務所前の掲示板に紙面で掲示しています。試食会の機会は離乳食を中心に希望を募っていますが、まだ実施はしていません。</li> <li>・眠れない子どもには「身体を休めようね」「少し横になつていようね」「みんな寝ているから静かにしていようね」などと言葉をかけ、午睡を強要していません。乳幼児突然死症候群の対策として、0歳児は5分ごと、1、2歳児は10分ごとに呼吸、体温、顔色、うつぶせ寝をチェックして、SIDSチェック表に記録しています。</li> <li>・散歩前、食事前、お昼寝後などの節目でトイレの声かけをし、排泄の間隔を把握するようにしています。一人一人の排泄リズムに合わせ、個人差を尊重して援助しています。トイレトレーニングは、歩行がしっかりしていること、排泄の間隔が少し長くなってきたことなどのタイミングをとらえ、家庭と連携しながら個別に対応しています。</li> <li>・長時間保育では、遊びたい子どもは自分の好きな遊びをしたり、身体を休めたい子どもは寝転がることができるように、保育室をコーナーに分けています。18時半以降の延長保育の子どもには、おにぎり1個程度の補食を提供しています。子どもが安心して過ごせるように、職員は各クラスの引き継ぎノートに子どもの心身状況を記入して、適切に引き継ぎを行っています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士が食育年間スケジュールを作成し、0～5歳児クラスまで発達段階に応じて、さつま芋の団子づくり、餃子やピザづくりなどの調理体験、栽培体験をしています。食育活動実施後は、食育計画表に目的、配置図、作業内容、配慮事項などを反省欄にきめ細かく記録しています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が、保育園で提供している食事を試食し、味付けや固さなどが家庭での食事づくりの参考になるよう、試食会を設けることが望まれます。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－２</b> 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理マニュアルがあります。登園時の健康状態について、0、1歳児のその日の体温は、保護者が検温し確認表に記入し、2～5歳児は各家庭で検温し保育アプリで連絡しています。入園前の個人面談記録で既往症などの情報を得ており、熱性けいれんのある子どもの対応は、職員会議で担任が報告して全職員に周知しています。予防接種などの更新は、保護者から保育アプリで接種状況や罹患情報が入るので、看護師が把握し職員に伝えています。</li> <li>・年2回、健康診断と歯科健診を実施し、クラスごとの健康診断記録、歯科健診記録にファイルしています。嘱託医から結果報告や気づいたことなどを聞き、気になる子どもについては保護者にかかりつけ医への受診を勧めています。園では保護者より受診の結果報告を受けています。</li> <li>・感染症への対応に関するマニュアルがあります。保護者には、登園停止基準や保育中に感染症の疑いが生じた場合の対応について明記した書類を、ホームページや保育アプリに掲載しています。感染症が発生した時は、病名と人数をボードに記載して事務所前に掲示しています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－２</b> 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理マニュアルがあります。マニュアルは年1回、系列の3園の主任会議で見直しています。嘔吐処理について、マニュアルに沿ってやってみての疑問点などは主任と看護師が話し合っています。また、マニュアルに基づいて、職員トイレや3階トイレなどの共用スペースは掃除チェック表を用い、保育室や手洗い場などはクラス掃除チェック表を用いて毎日、清掃を行っています。</li> </ul>

<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育マニュアルの中にプール、水遊び、散歩、睡眠などの安全管理マニュアルがあります。プール活動は、保育担当の職員以外に必ず監視員を１名配置し、睡眠中は、０～２歳児はブレスチェックを実施し、３歳児以上についても様子を見て、必ず職員不在の時がないようにしています。食事中は、１テーブルに１人は職員が付き誤食、誤嚥に気をつけています。</li> <li>・地震、火災を想定した避難訓練を毎月１回実施し、地域の避難場所（市場小学校）への誘導訓練、鶴見区消防署への電話連絡で通報訓練を年１回実施し、全て災害訓練記録に記録しています。</li> <li>・子どものケガが軽傷の場合は、処置は保育園で行い、お迎え時に保護者に報告しています。受診する必要がある場合は、保護者にはケガの状態の写真を撮って保育アプリで連絡を入れ、受診の可否を電話で確認しています。受診には看護師が付添い、病院で保護者と落ち合うことにしています。保育アプリの中のヒヤリハット報告書にケガの記録をしています。</li> <li>・玄関は電子錠で施錠されており、インターフォンのモニターで来訪者を確認し、保護者は子どもの名前を確認後に解錠するようにしています。また、警備会社と契約しており、すぐ通報できる体制になっています。１０月には不審者対応訓練で、戸外活動中に不審者に遭遇したことを合言葉で他の職員に知らせる訓練を実施しています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの呼び名は保護者に確認し、その名前前で呼んでいます。全職員は、「子どもの個々の発達過程を理解し、違いを認めてまなび合う」という保育理念に基づいて、子どもの人格を尊重する保育を大切に考えています。入職時には園長から説明を受け、入職後は行事の後の全体会で話し合うなどして、再認識の機会を持っています。</li> <li>・子どもが、友達や保育士の視線を意識しないで過ごせる場所として、保育室の隅に牛乳パックで作った囲いで、仕切りのあるコーナーを設けたり、事務所の養護室などを利用しています。子どもに威圧感を与えず話し合える場所としては、空いている保育室やカウンセリングルーム、廊下を使って１対１で話が聞けるようにしています。</li> <li>・守秘義務の意義や目的については、新人研修で法人本部と園長が説明をしています。園長は、年度初めの職員会議で保育のアプリの説明をし、ブログの配信などの再確認の場を設けるなどして全職員に周知するとともにボランティアにも周知しています。保護者には、入園説明会の個別面談時に個人情報についての説明をし、同意書に署名捺印をしてもらっています。</li> <li>・遊びや行事の役割などは、４、５歳児クラスは子どもの希望で決めたり、子どもたちで決めたりしています。順番は誕生日別、整列は基本的には好きな子ども同士で並んでいます。着ている服の色などを用いて整列することもあります。無意識に性差による固定観念で保育をしていることに気がついた時は、休憩時に職員同士で話し合ってもいますが、リーダーを中心に話し合いの場を設けて反省する仕組みをつくっています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めにクラス懇談会を開催したり、園だより、給食だより、保健だより、日々の連絡帳などで、保護者が保育方針を理解できるよう努めています。また、保育アプリで行事後のアンケートをとって保護者に保育方針が理解されているかどうかを把握しています。</li> <li>・職員は、子どもの送迎時に今日の子どもの様子や健康状態などを口頭で伝えています。保護者が事務所の前を通りかかる時には、園長や主任からも何か一言でも話しかけるようにしています。保護者の個別面談は年２回実施し、担任が保育室で話をしています。保護者が子育てのことで悩みを抱えている場合などは担任がその都度、面談をしています。</li> <li>・保護者の相談はカウンセリングルームで受けています。入り口に「面談中」の札を掲げ、電話はとりつがないなどの配慮をしています。相談内容は保育</li> </ul>

	<p>アプリの「保護者との面接記録」に入れ、職員会議で報告しています。配慮を要する子どもの保護者で支援が必要な場合は、横浜市東部療育センターの方に相談をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育アプリに毎月、園だより（クラスだよりを盛り込んでいる）、給食だより、保健だよりを発信したり、毎月のクラス写真、お誕生日会などの行事写真を公開して、保護者に日常の保育の様子を伝えています。</li> <li>・年間行事予定表は、在園児の保護者には年度末に、新入園時の保護者には入園前の個人面談時に渡して、保護者が休暇の予定を立てやすくしています。保育参観は希望者があれば受け入れる体制にしていますが、まだ受け入れていません。</li> <li>・クラス懇談会で保護者から保育園の前に横断歩道の設置や標識の設置などの要請意見があり、自治会への働きかけを行っていますが、保護者の有志による主体的な活動はありません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートによれば、保育参観の日程を行事予定表の中に組み込んで欲しいとの要望があるので、保育参観または保育参加を実施することが望まれます。</li> <li>・保護者からも自分達をもっと活用して欲しいという意見が出ています。園が、保護者同士がつながるような活動への働きかけを工夫することが望まれます。</li> </ul>
--	--

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅲ－１</b> <b>地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週１回園見学説明会を、月１回屋上園庭開放を実施しており、参加者からアンケートを取り地域の子育てニーズを把握するとともに、後で個別相談に応じています。</li> <li>・地域ケアプラザ（ゆうづる）からの情報や、毎年実施する地域保育フェア（会場：ゆうづる）における保護者からの直接相談を受け、地域の子育て支援ニーズを把握しています。</li> <li>・鶴見区こども家庭支援課主催の園長会での打ち合わせや、専門講師を呼んでの研究会、年２回の区役所保健師・療育センター・保育園による検討会などを開催しています。</li> <li>・地域の子育てを支援するためのサービスとして、屋上の園庭開放を行い地域情報誌（ぱど）に掲載しています。また、鶴見区地域子育て支援拠点「わっくん広場」にパンフレットを置いて、情報提供しています。</li> <li>・地域保育フェアや屋上園庭開放日にトイレトレーニングや離乳食の献立など、保育に関する内容を中心に講習を行っています。</li> </ul>
<b>Ⅲ－２</b> <b>保育所の専門性を生かした相談機能</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保育フェアでは保育園のパンフレットを配付し、複数の保育園が協力し保育園の専門性を生かし、育児相談に応じています。</li> <li>・毎週木曜日に園見学説明会を実施し、保護者からの育児相談を受けています。</li> <li>・必要な関係機関・地域の団体などをリスト化し一覧表が作成され事務室内に掲示されています。なお本リストは保育アプリに登録されており、全職員が保育アプリを確認し利用しています。</li> <li>・関係機関との連携の担当者は、鶴見区の公共機関は園長、横浜市の東部療育センターは主任や担当職員、消防救急関係は看護師と決めています。</li> <li>・鶴見区の園長会議や研修会への参加、東部療育センター担当者との交流、消防署の救急救命の研修などを通じて日常的な連携ができています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅳ－１</b> <b>保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の行事の夏まつりには、近くのマンションにチラシを配り地域の小学生が10人位参加しています。また、園長は、市場小学校主催の地域交流会議に年1回参加しています。園長や職員が鶴見区子育て支援ネットワーク会議のメンバーになっており、年間活動予定を一緒に考えています。今年3月には当園が担当だったので、職員が手遊びを実施しました。10月29日には、市場地区子育て支援イベントに参加して、園長が育児相談を、職員が1、2歳児を対象にペープサートを行いました。</li> <li>・市場小学校の体育館を借りて運動会を行ったり、鶴見区市場地域ケアプラザ「ゆうづる」や野毛山動物園などを利用しています。近隣保育園にハロウィンで訪問して交流したり、年長児は年3回、地域の他保育園年長児と交流するとともに、市場小学校との交流をしています。</li> </ul>
<b>Ⅳ－２</b> <b>保育所における福祉サービスに関する情報提供</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園のしおり、パンフレット、ホームページなどで、福祉サービスの内容、保育方針、保育時間、職員体制などの必要な情報を掲載して、地域情報誌や中国人向け雑誌の中国版マップ情報に提供しています。</li> <li>・利用希望者の問い合わせは、園長または主任が常時対応できるようにし、保育所の基本方針や利用条件、保育内容については、資料や文書に基づいて説明しています。園のホームページや電話で対応した時などに、見学可能日を（毎週木曜日、15時半から）知らせ、予約が必要であることを案内しています。</li> </ul>
<b>Ⅳ－３</b> <b>ボランティア・実習の受け入れ</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア受け入れのためのマニュアルがあり、今年の夏休みに大学の保育科の学生を4日間ボランティアとして受け入れ、記録は保育アプリの「園日誌」に残しています。ボランティア終了後には手紙で感想文が送られてきて、園長が職員会議で報告し全員で共有しています。</li> <li>・実習生受け入れのためのマニュアルがありますが、実習生は受け入れていません。                      &lt;コメント・提言&gt;</li> <li>・将来の人材育成の面からも、実習生の受け入れは大切であると思われます。今後、実習生の受け入れに積極的に取り組むことが望まれます。</li> </ul>

## 評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅴ－１</b> <b>職員の人材育成</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は保育園の運営に十分な人材構成であるかをチェックし、本部の人事担当者が必要な人材を採用しています。</li> <li>・保育業務遂行のための研修はしていますが、長期を展望した人材育成計画は現在作成されていません。</li> <li>・昇進や昇格を目指しキャリアアップする長期的な職務展望や資質向上のための研修計画が作成されていません。</li> <li>・個々の職員の資質向上に向けた自己評価チェックシートが作成されており、職員は年度当初に今年度の目標を立て、86項目にわたり上期・下期の年2回自己評価し、達成度の評価を行っています。</li> <li>・研修担当者である園長は職員の研修ニーズを把握し、職員から研修受講希望を募り、偏りがないように研修を計画しています。</li> <li>・職員は研修受講後に研修報告を保育アプリに登録し、全職員が誰でも閲覧し利用できるようにしています。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シフト勤務などの日々の配置は主任が行っていますが、業務は職員と非常勤職員の組み合わせとなっています。</li> <li>・非常勤職員の指導担当は乳児・幼児のリーダーで、定期的に（3カ月に1回）面談し、働きやすい環境にしています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的な職務展望や資質向上のための研修計画は作成されていません。将来の保育園の核となる人材をどのような仕事を経て育成するのか、またはどのような資質を持つ人材を求めているのかを明確にする必要があります。職員にとってもキャリアアップのためには必要な目標であり、これらの計画の策定が望まれます。</li> </ul>
<b>V-2</b> <b>職員の技術の向上</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年初に年度目標を定め、自己評価表を前期・後期でチェック（9月末、2月末）し、年度末に達成度を評価する仕組みを持っています。</li> <li>・毎月の職員会議やクラスミーティングで保育の質の向上を目指した会議が開かれており、反省点や改善点の話し合いを行っています。</li> <li>・振り返りは計画で意図した保育の狙いと関連付けて行われ、次期計画へ反映しています。</li> <li>・職員は、年2回自己評価表に基づき自己評価を実施しており（9月末、2月末）、乳児リーダー又は幼児リーダーと意見交換し、話し合っています。</li> <li>・全員の自己評価結果を園長がとりまとめ、園としての改善点を抽出し、職員会議の議題にして話し合い、改善に取り組んでいます。</li> <li>・職員の自己評価の結果を取りまとめたものから課題を抽出して保育園としての自己評価としており、保育理念や保育方針にそって自己評価しています。</li> </ul>
<b>V-3</b> <b>職員のモチベーションの維持</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「配置や昇進・昇格等に関する人事基準」があり、本部の人事担当者が給与や昇進関係を設定し職員に周知しています。</li> <li>・職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度などについては、職務の専門性の発揮やクラス運営、出勤率などで評価し、本部の人事担当者と園長の打ち合わせで意見を出し合い決定しています。</li> <li>・経験・能力や習熟度に応じて、主任、乳児・幼児リーダーという職務役割を与えています。</li> <li>・職員は、年2回自己評価表を園長に提出し（9月末、2月末）、業務改善にかかわるアンケートを年1回提出しており、取りまとめた結果が職員会議で報告・審議されています。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>VI-1</b> <b>経営における社会的責任</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・守るべき法・規範・倫理などが明文化され、会社で作成した「指南書」（いわゆる業務の手引き書）に明記され、常時見ることが可能な場所に設置しています。</li> <li>・不適切な事案が発生した場合は職員会議で報告し、グループの園長会議で審議し、会社としての対策を講じるようになっています。</li> <li>・入社時に守るべき法・規範・倫理などが明記された「指南書」（いわゆる、業務の手引き書）が配付され、職員は自由に閲覧できるようになっています。</li> <li>・保育園における内部監査を本部が毎月実施しています。</li> <li>・牛乳パックや新聞紙は教材などに利用し、段ボールは本部がまとめて資源ごみに出しています。</li> <li>・鶴見区地域復興課資源推進担当に依頼し「リサイクル教室」を開催し、子どもたちと職員に省資源意識の啓もうを図っています（8月実施）。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社全体で省資源の一環としてペーパーレス化を推進しており、保育アプリの定</li> </ul>

	<p>着化を積極的に推進していますが、保育アプリ導入により省力化が推進され時間外労働は原則ゼロになっています。</p>
<p><b>VI-2</b>  <b>施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念・保育方針は明文化されており、会社作成の「指南書」や「保育園案内」・「重要事項説明書」に明記されています。また、事務室にも掲示されており、職員が常に意識できるようになっています。</li> <li>・年度初めの職員会議では園長が説明するとともに、「保育に関する全体的な計画」審議過程でも職員は保育理念や保育方針に触れ理解しています。</li> <li>・重要な意思決定をする場合には、園長はクラス懇談会や年2回の運営委員会で保護者と意見交換しています。</li> <li>・重要な意思決定（変更）に際しては、まず主任と乳児・幼児リーダーに説明し、その後に職員会議で全職員に説明しています。また、保護者には保育アプリで一斉周知しています。</li> </ul> <p>10月1日からの保育無償化に当たっては、副食費徴収について保護者に口頭説明し同意書の提出をしてもらっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部やグループ会社の学習塾と連携し、行事や保育のプログラムを作成しています。</li> <li>・神奈川県や横浜市主催のスキルアップ研修、鶴見区主催の主任研修に職員が参加し、主任クラスを計画的に育成しています。</li> <li>・会社の「指南書」に具体的な業務分担が明記されており、主任は個々の職員の業務状態を考慮し、シフト配置を行っています。</li> <li>・主任は、月1回の乳児・幼児リーダーとの打ち合わせや、指導案作成や行事を通して、職員に指導・助言を行っています。また、個々の職員の相談にのり、体調などに配慮し、配置を調整しています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園ではグループ会社の資源を利用して年長児の教育的プログラムを行っています。</li> </ul>
<p><b>VI-3</b>  <b>効率的な運営</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴見区の園長会議に参加し外部環境の変化情報を収集するとともに、その配付資料や子ども家庭支援課から配付される情報などを収集し外部環境の変化を分析・評価しています。</li> <li>・重要な情報や改善課題については、月1回開催される本部とのグループの園長会議の議題として審議しています。</li> <li>・中長期事業の方向性を定めた計画は策定していますが、一部不十分なところがあり現在見直し中となっています。</li> <li>・中長期的な計画を踏まえた単年度の事業計画は策定されていません。</li> <li>・日常の保育運営を担当する職員の育成は行われていますが、核となる幹部職員の育成については長期的な職務展望や資質向上の計画が作成されていません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぶれすと尻手ほいくえん」の中長期計画は素案が作成されていますが、一部不十分なところがあり現在見直し中です。中長期にわたる会社運営の方向を示すものであり、具体的な計画の策定が望まれます。</li> <li>・幹部職員の育成については、長期的な人材をどのような職務を経験させ育成するのか、またどのような資質を持った人材に育成していくのかの展望の設定が望まれます。</li> </ul>

# 利用者家族アンケート

事業所名：ぶれすと尻手ほいくえん

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## 結果の特徴

### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数 67名、全保護者 60家族を対象とし、回答は 41 家族からあり、回収率は 68%でした。

### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で 保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

### ◇ 総合満足度

肯定的な回答は 98%(満足 66%、どちらかといえば満足 32%)と高い評価を得ており、否定的な回答は 2%(どちらかといえば不満 0%、不満 2%)でした。

### ◇ 大変満足度の高い項目

全ての項目に於いて、満足、どちらかと言えば満足の合計値が 80%以上という高い値でした。その中で満足度 95%以上の項目。(満足:どちらかと言えば満足)

- 1)入園するときの状況 : 保育園の1日の過ごし方についての説明 95%(51:44)
- 2)遊び : 園の遊び 98%(71:27) おもちゃや教材 98%(71:27)  
遊びを通じた友だちとの関わり 98%(69:27)
- 3)生活 : 給食の献立 98%(88:10) 給食を楽しんでいるか 100%(78:22)  
基本的な生活習慣の自立 100%(85:15) 体調への気配 98%(78:20)  
ケガの報告 98%(78:20)
- 4)快適さや安全対策 : 落ち着いて過ごせる雰囲気 :95%(68:27)
- 5)園と保護者との連携・交流について : 行事の開催日時 95%(56:39) 送迎時の情報 95%(63:32)  
: 重要事項連絡体制 96%(72:24) 相談事への対応 98%(66:32)
- 6)職員の対応 : お子さんが大切にされているか 98%(81:17) 園生活を楽しているか 98%(81:17)

### ◇ 比較的満足度の低い項目 どちらかと言えば不満、不満の合計値が10%以上の項目

(どちらかと言えば不満:不満)

- 1)入園するときの状況 : 費用やきまりの説明について入園後に食い違いがなかったか 12%(10:2)
- 2)遊び : 自然や地域にふれる園外活動 12%(12:0)
- 3)園と保護者との連携・交流について : 懇談会や面談などによる話し合いの機会 12%(10:2)

## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	%	22	62	2	12	2



問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	%	47	53	0	0	0

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	%	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
		見学の受け入れについては	49	15	0	2	34
その他:新設でまだ見学できなかった							
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	56	27	5	2	10	0	
その他:							
園の目標や方針についての説明には	54	37	5	2	0	2	
その他:							
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	62	29	5	2	2	0	
その他:							
保育園での1日の過ごし方についての説明には	51	44	5	0	0	0	
その他:							
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	59	29	10	2	0	0	
その他:							

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	%	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
		年間の保育や行事についての説明には	56	37	2	5	0
その他:							
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	42	41	5	2	10	0	
その他:							

#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	71	27	2	0	0	0
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	59	34	5	0	2	0
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	71	27	2	0	0	0
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	47	41	12	0	0	0
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もっているかについては	69	29	2	0	0	0
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	61	32	7	0	0	0
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	88	10	2	0	0	0
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	78	22	0	0	0	0
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	85	15	0	0	0	0
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	68	32	0	0	0	0
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	76	20	2	0	2	0
	その他: まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについて は	78	20	2	0	0	0
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	78	20	0	2	0	0
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	66	24	5	5	0	0
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	68	27	5	0	0	0
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	49	41	5	5	0	0
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	61	32	2	5	0	0
	その他:					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	49	37	10	2	2	0
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	59	34	2	5	0	0
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	56	39	5	0	0	0
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	63	32	5	0	0	0
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	72	24	2	2	0	0
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	66	32	0	2	0	0
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	74	17	7	0	2	0
	その他:					

**問7 職員の対応について**

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	%	81	17	2	0	0	0
	その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	%	81	17	2	0	0	0
	その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	%	61	24	0	0	15	0
	その他:						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	%	74	20	2	2	2	0
	その他:						
意見や要望への対応については	%	67	24	7	2	0	0
	その他:						

**問8 保育園の総合的評価**

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答
総合満足度は	%	66	32	0	2	0

# 観察方式による利用者本人調査

令和元年 11 月 6 日

事業所名：ぶれすと尻手ほいくえん

## 【0 歳児】

### <英語サークルタイム>

おやつの後、カーペットの敷いてあるコーナーに座って英語の勉強です。先生がタブレット端末で映像と音楽を流して歌うと、子どもたちは真似て一緒に歌っています。先生の側に寄って、タブレット端末に触ろうとする子ども、きちんと座って画面を一生懸命見ている子ども、職員に抱っこされながら一緒に口を動かしている子どもなどそれぞれです。英語で指あそびが始まりました。2人の職員と一緒にあって、子どもたちは歓声をあげながら遊んでいます。

### <排泄>

食事が終わった子どもは、沐浴室に敷いてあるマットの上でオムツを取り替えてもらっています。

### <食事>

5人の子どもたちが一つのテーブルを囲んで椅子に座り、1人の子どもは台の付いている椅子に座っています。職員にスプーンを口に運んでもらったり、手づかみでスパゲッティや野菜のおかずを口に持っていこうとして一生懸命な姿が見られます。

### <午睡>

布団に寝かせるとすぐに眠ってしまう子ども、指を吸いながらゴロゴロしている子ども、職員に抱っこされている子どもなど、それぞれに眠りについていきます。職員は5分ごとに、子どもの寝ている様子やうつぶせ寝のないように見回り、呼吸チェックをしています。

## 【1 歳児】

### <自由遊び>

おやつ後の自由遊びの時間に、保育士がテーブルやパーテーションでパズル遊び、ままごと遊び、絵本読み、ミニカー遊びのコーナーを作っています。

「自分の好きなところで遊んでいいよ」との保育士の言葉かけで、子どもたちはそれぞれ遊びたい場所に行きました。ままごと遊びの所は保育士がハンモックのようにカーテンを部屋の隅に取り付けると、子どもたちが「わぁ！」と言って3、4人集まってきました。頭にバンダナをつけてもらい手さげ袋を持って買い物に出かける様子の子ども、手づくりのテーブルと椅子に座ってままごと

を始める 2、3 人の子どもがいます。パズルで遊んでいる子どもは保育士と一緒に動物、野菜、乗り物などの型はめに一生懸命です。ミニカーを持って絵本の棚で遊んでいた子どもは保育士に「こっちで遊ぼうか？」と言葉かけされて、街や道路の絵が描いてあるレジャーシートの上で、保育士に見守られながら一人で遊んでいました。

#### <排泄>

食事の終わった子どもは、保育士に「〇〇ちゃんおいで、パンツ替えるよ」「おすわりしてパンツぬぎぬぎしょうね」などと言葉をかけられて、服の着替えと紙パンツの取り替えをしてもらいます。ある子どもが自分の紙パンツをブラブラさせながら保育士のところにきました。保育士は「〇〇ちゃんうんち出る？」と言葉かけをして、その子どもの様子を見ています。

#### <食事>

子どもたちはスプーンを持って食事をしますが、まだ上手に使えない子どもは、反対の手を使ってスプーンにおかずを載せて食べています。スープやお茶は、お茶碗を両手で持って飲んでいきます。ご飯の途中で眠った子どもに保育士が「もうねんねする？」と言葉かけをすると、その子どもは首を横に振りしました。「じゃあご飯食べる？」と保育士が聞いています。目が覚めたようでご飯を食べさせてもらっていました。遊びながら食べていた子どもは、保育士がテーブルを片付けようとする、まだ食べると言って泣き出しました。子どもは食事の場所から移動しても機嫌がなおらない様子です。別の保育士が「まだ食べたかったの？」と子どもの気持ちを聞いています。その子どもは保育士と一緒に席に戻り、おかずを出してもらいましたが食べませんでした。もう泣きやんで自分から席を離れました。

#### <午睡>

着替え終わった子どもたちは、保育士が待っているお布団のところにきました。「〇〇ちゃん、コロンする？」「〇〇ちゃんのお布団はどこですか？」との言葉かけで自分の寝るところにいき、タオルケットを持ち横になっています。もう眠っている子ども、ゴロゴロしている子ども、身体をトントンしてもらっている子ども、まだ着替えさせてもらっている子どもなど様々な様子です。子どもたちは保育士に見守られながら眠りに入っています。

### 【2歳児】

#### <散歩>

今日は 3 歳児クラスと一緒に散歩に行きます。子どもたちは保育士の言葉かけで、玄関で靴を履いています。自分で靴を履いた子どもが保育士に「あってる？」と尋ねています。「はんた〜い」と言われて、保育士になおしてもらって

いました。尻手公園に着くと保育士から約束事や帰りの集まる時間を聞いています。それが終わると子どもたちはそれぞれ自分の遊びたいところへ散らばっていきました。大きな木の下で3、4人の子どもが落ち葉集めをしています。小さな木の枝を持ってくる子どももいます。調査員が「何をしているの？」と尋ねると「たきび！」と教えてくれました。ちょっと離れた砂場まで走っていった子どもは、砂場にいる保育士に「野菜ください」と話しかけました。保育士は「はい、これキャベツです。5円です」と答えて落ち葉をその子どもに渡しました。子どもはお金を払う仕草をして、たきび遊びをしていたところへ戻ってきました。子どもたちはボールけりをしたり、保育士と追いかけてっこしたり、また、砂場やたきび遊びをしたりして、動き回っていました。

#### <着替え・排泄>

食後、口をすすぎ終わった子どもは保育士の「お着替えするよ、おいで～」の言葉かけで順次、自分の棚のところにきて着替え始めました。頭から脱ごうとして、なかなか脱ぐことができない子どもは、保育士に「お手てから脱ぐんだよ」と言葉をかけられ手伝ってもらっていました。着替えるとトイレに行き、保育士に見守られながら男の子は男子用便器で、女の子は便座のトイレでオシッコをしています。

#### <食事>

今日の給食はスパゲッティです。「いただきます」をすると、真っ先にスパゲッティを食べる子ども、スープを飲んで野菜のおかずを食べる子どもなど、思い思いに食べ始めました。ある子どもは、フォークでスパゲッティをくるくる巻いて上手に食べています。なかなかスパゲッティがすくえない子どもは少し手を添えてのせようとしています。保育士が「パスタおかわりする？」というと、「多めがいい」と答える子どもがいます。野菜の食べられない子どもに「モグモグして」「わぁすごい！食べられたね」と保育士が言葉をかけています。栄養士が巡回して、野菜の苦手な子どもと話をしています。「〇〇ちゃん、頑張れるよね」「やった！すごいね」などと、食べられたことを子どもと一緒に喜んでいました。

### 【3 歳児】

#### <公園遊び>

今日は2歳児クラスと一緒に尻手公園にきました。遊ぶ前に保育士から約束ごとを聞き終わると、子どもたちは元気よく砂場、ジャングルジムの方へ駆けて行きました。砂場では5、6人の子どもたちが、バケツ一杯に砂を入れて台の上に運んだり、砂を掘ってやまを作ったり、だんごを作ったりしています。「おやま！」「おやまする？いいよ」「プリンできた！」「プリンできたね」などと保

育士と会話をしながら遊んでいます。ジャングルジムで遊んでいた子どもたちは、次はなわとび遊びです。ポールになわとびの片方を結びつけ、もう一方は保育士が動かして、子どもたちがその上を「きゃあきゃあ」と声をあげながら飛び越えていきます。「2列に並んで2人ずつで飛ぶよ」「足元をみてね」など保育士が言葉かけをしています。「ちゃんと足元みてるよ」と答えている子ども、2人ずつで飛ぶということにおかまいなく、思い思いに走り回っている子どもの姿もありました。

#### <食事>

保育士が全員の食事の配膳をして準備ができると当番が前に出て給食の歌を歌い食事開始です。食事は賑やかでお代わりをする子どももいますが、終わった子どもは歯磨きをしたり、トイレに行っています。

奥のスペースに保育士がコット（簡易ベッド）の準備をし、子どもたちがいつでも寝られるようにしています。

### 【4歳児】

#### <散歩>

朝部屋に行くとき散歩の準備が済んでいて13人全員がそろっています。先頭には保育士と子どもが手をつなぎ、二人ずつ手をつないで列を作っています。気になる子どもが一人おり、もう一人の保育士と最後尾に手をつないで並んでいます。

子どもたちは賑やかにおしゃべりをしながら歩きますが、保育士は、花壇があると花の名前などを説明し、横断歩道では「手を挙げて～」と声をかけ、工事をしている区間では「あぶないよ～」と注意をしています。子どもたちの声が大きくなると「赤ちゃんが寝ているかもよ～、もう少し小さい声で～」と声かけしています。また、道で行き交う人には保育士と一緒に「こんにちは～」と元気に挨拶しています。

約10分で公園に到着しましたが、既に1歳児さんが来ていました。保育士より「水筒の水一口飲んでくださ～い」と声かけがあり、そのあと「ま～るくなって～」と言って「1, 2, 3、・・・」と点呼します。保育士は「次は英語で～」と言い、最後まで点呼が続きます。その後は準備体操をして、自由に遊べます。ジャングルジムで遊ぶ子ども、走り回る子ども、滑り台で滑る子ども、保育士が保育園から持参した玩具で遊ぶ子ども、地面に絵を描く子ども、どんぐりやはっぱを拾う子どもなど、好きなことをして活発に遊びます。

帰りは来た時とは別の道を通ります。保育士は交通量があるので注意を呼びかけていますが、子どもたちはあまり気にしないで七夕の歌を一斉に歌いながら帰園しました。

部屋に帰ると保育士が「聞いて聞いて～」と歌うように言うと、それに合わせて子どもたちが一斉に「何を～」と歌うように答えています。さらに、保育士が「手洗い・うがいをしたら英語ですよ～」と声かけをすると、子どもたちはそれぞれ行動し、戻ってくると部屋の片側に並んで座って待っています。

#### <英語サークルタイム>

英語担当の先生が入ってくると、子どもたち全員で「GOOD MORNING ○○先生の歌」を歌い、それが済むと、○○先生が「HELLO HELLO HOW ARE YOU」と歌い、さらに子どもたち一人一人に「WHAT'S YOUR NAME?」と問いかけ、子どもたちの「MY NAME IS △△」の掛け合いがしばらく続きます。

それが済むと○○先生が絵を描いたカードを見せて、子どもたちにそれを英語で確認し、子どもたちは積極的に英語で答えています。その後タブレット端末で映像と音楽を流し、英語の歌を歌っています。皆いきいきと楽しそうです。時間が来ると「GOOD BYE の歌」を全員で歌いお別れです。

#### <食事>

保育士と子どもの2人で給食室に皆の食事を取りに行き、部屋の入り口で保育士が子どもたちの器によそっています。子どもたちは椅子に座って待っており、保育士がそれぞれの子どもたちのところに配っています。全員に配り終わると、「量を減らす人はいますか～」と保育士が声かけをし、手を挙げた子どもの量の調整をして回ります。

保育士の「お当番さんお願いしま～す」の声で当番が前に出て、給食の歌の後、「いただきま～す」「お当番さんもどう～ぞ」で食事開始です。

その後で保育士は「三角食べだよ～」と言ってメニューを紹介しています。

食後は終わった子どもから、順次歯磨きをし、着替えをしてトイレにも行っています。なお食事中に保育士によりコット（簡易ベッド）の準備がなされており、子どもたちは何時でも寝られるようになっています。

### 【5歳児】

#### <散歩>

当日は10分ほど遅れて同じ公園にきて遊びました。遊びの様子は4歳児の項と同じですが、2歳児～4歳児に比べて集団で遊ぶ子どもが増えています。

結局、当日は1歳児～5歳児まで全員が同じ公園で遊びました。

## 第三者評価を受けて

ぶれすと尻手ほいくえん

園長 森山みどり

開園3年目にあたり、0歳から5歳児のクラス定員が揃った状況のもと、園運営をもう一度見直すという観点から、第三者評価を受けることになりました。

6月1日（土）に自己評価作成説明会を設け、ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部のご担当者から、職員全員で説明を受けました。

その後、6月末までに各自で自己評価票を完成させ、7月に入り乳児クラスと幼児クラスでグループ会議を開催しました。

乳児クラスは保護者対応の難しさを中心に、話し合いを行いました。

幼児クラスは要配慮児の対応策（個別対応と集団保育の中での受け入れ）について話し合いを行いました。

グループでの話し合いは、自己評価票をもとに個人の保育に関する考え方や、新保育指針の再確認をするとともに、日々の保育の中で困っている事などを発表し合いました。

8月に入り園長が職員の自己評価票の集計と、グループ会議での意見等をまとめました。8月中旬の職員会議では、その結果をもとに保育での問題点や、課題点を話し合いました。そこでは、認識度が低かった地域との交流や関わり方法を中心に研修を行いました。内容的にはまだ不十分であった為、これは今後の課題としてあげていきたいです。

障害児への対応についても、園内研修等で園全体で認識を高めたいという意見が出ました。

9月中旬に保護者の皆様に、事業所からの利用者家族アンケート用紙を配布しました。

そして9月下旬に、封を閉じ意見箱に提出して頂きました。

11月の2日間では訪問調査が実施され、実際の保育を見て頂きました。職員は普段と変わらず楽しく子ども達と接していたので安心しました。

年1回行われる市の監査調査に比べると、第三者評価は長丁場で大変でしたが、園運営を一から見直すとても良い機会になりました。

また保育士・看護師・栄養士・調理師が一丸となって保育に関する見返りが出来、全体の計画やクラス目標が立てやすくなりました。

何より保護者の皆様には、お忙しいところアンケートにご協力して頂き、ありがとうございました。今後もより良い園運営を心がけ、子ども達が楽しく毎日を過ごせ、保護者の皆様が安心して預けられる園を目指していきたい所存です。